

## 第2次掛川市総合計画改定版に関するパブリックコメントについて

### 1 実施期間

令和元年12月20日（金）から令和2年1月18日（土）

### 2 意見数（意見提出者数）

26件（6人）

### 3 意見の概要

No.	意見の概要	市の考え方
1	掛川市は飲食店を中心とした駅前賑わいは県西部でも有数である反面、中心市街地の賑わいには依然として課題である。都市部との大きな違いは、「未婚の若者（特に未成年）が滞在する・したくなるようなエンタメ施設の圧倒的不足」である。若者が立ち寄り、コミュニケーションをする場が必要だと思う。	中心市街地には、多様な人々の交流を促し、多様な活動を展開しやすい空間づくりが必要だと考え、居心地がよく歩きたくなるまち「ウォーカーブル推進都市」を位置づけております。ご意見のとおり、若者がコミュニケーションをする場は求められておりますので、具体的な展開についてもすすめてまいります。
2	納涼まつり、商工まつりでのライブステージを開催すると相当数の若者が集まることから、潜在的な若者動員のポテンシャルはある土地柄だと思う。そのようなライブ活動を継続支援する枠組みがあると良いと思う。	納涼まつりに加え、けっトラ市等のイベントにおいても、ライブステージが設けられつつあります。5-⑤の「中心市街地における活発な人の交流促進及び賑わい創出」で位置づけており、今後もそのような活動を実施していただけるよう、様々な主体とともに協働で取り組める仕組みを検討してまいります。
3	自身は、以前、仕事をやめ、掛川市へUターンで移住した。その際、クラウドソーシングを通じて仕事ができたと移住を後押ししてくれた。クラウドソーシングを活用することは、仕事や働き方の選択肢を広げるうえで、大きな可能性があるため、ぜひ施策として検討をして欲しい。	クラウドソーシングは、多様な働き方を促し、柔軟な雇用を創出することが考えられ、これから必要な働き方だと考えております。ご意見のとおり、クラウドソーシングの推進について4-③に追記しました。
4	道路脇の草木やごみの管理、河川や海岸部も同様に山林や茶園の管理放棄と共に、支障が目につく。行政側で対応しているが、中途半端になってしまっている。そのため、各地域の自治会に管理を依頼すればそれなりの対応をすることはできると思う。各地域に管理を任せたり表彰制度を設けたりすることを提案する。	ご意見のとおり、全てを行政で行うことは不可能であり、協働で行っていく必要があります。そのため、協働での保全等を位置づけており、協力を得られやすい仕組みを検討してまいります。
5	さらなる学習機会の充実、情報提供、学ぶ環境の整備の場として、市民の学びの拠点づく	ご意見のとおり学習をする場は、場所や手法を選ばず多様な方法で行う必要があると考えま

	りと中心市街地再形成の手法として空き店舗の活用の提案を行う。	す。そのため、中心市街地の再形成や空き家活用の施策の中で位置づけており、推進していきます。
6	災害の備えと復興は持続可能なまちづくりにとって必要なことであり仮設住宅の供給等の整備を行う「復興に備える」ことを提案する。	仮設住宅等の復興については、当総合計画ではなく、個別計画の地域防災計画に記載のとおり復興についても備えてまいります。
7	私たちを取り巻く社会の状況が複雑化して、行政だけとか民間だけとか、これまでの関係者や専門分野だけでは社会課題の克服が困難になってきている。そのため、多様な組織やグループ、個人の参加を促し、協働していく必要があり、市民のコンセンサスを得る「合意形成」の仕組みを構築していくことを提案する。	ご意見のとおり社会の状況は複雑化しており、課題解決も多様な関係者で協力する必要があります。そのため、協働のまちづくりを進める上で「合意形成」の仕組みは重要だと考えており、繋ぐ機会を創出することを位置づけております。
8	「Society5.0」や「SDGs」など、また一般には広く普及していないものの重要なキーワードがあります。これらは本文中において定義及びイメージをわかりやすく解説することを提案する。	ご意見のとおり、重要なキーワードは、できるだけわかりやすくなるように解説を付けます。
9	第4章4項において「具体的な成果を表す成果指標を設定し、成果指標の達成状況等をもとに、事業の進捗・効果等について効果検証を着実にを行い、必要に応じて見直し」とあるが、戦略目標の達成が将来人口の増加に寄与するのか、個別施策の達成がどの戦略目標にどのように影響するのか、といった因果関係は定かではありません。そのため、「エビデンスに基づく政策形成・評価に関する研究を進める」旨を追記することを提案する。	ご意見のとおり、実施した施策が直接的に将来人口の増加等の効果に結びつくことばかりではなく、政策形成・評価に関することを研究していきます。
10	個別施策の実施について、財源が必要であり、「人」「もの」「財源」等の経営資源は安易に増加を期待できない状況である。こうした状況を市民にも広く共有するため、将来推計人口とともに、市内総生産などの経済的指標や、市の財源に関する将来推計を行い、現状のままではどのような未来が訪れるのかを提示することを提案する。	「人」「もの」「財源」等の経営資源は、今後、大きく増加することは期待できないと考えられます。ご提案の視点は、将来を見通していく上で必要であり、公共施設を最適化していく等、これからの行政運営には必要なことであり、お示ししておりますが、引き続き実施してまいります。
11	3-①において、地球温暖化の緩和策、適応策双方からの視点による施策展開が必要で	気候変動による新たな課題が発生しており、対応は広範囲にわたりますので主に1-①の環境

	あり、「気候変動の適応に必要な取組の検討」を進めることを提案する。	教育、5-①、インフラ整備等、様々な施策で対応を位置づけております。
12	4-②の主要事業「移住促進情報サイトの充実」において、生涯学習や子ども教育環境など、移住検討者にとって、他地域との差別化を図るうえでアピールポイントとなる点を強調していくことを提案する。	ご意見のとおり移住検討者にとっては、様々な形でアピールする必要がある、移住希望者が必要とする情報として位置づけております。
13	当計画では、Society5.0を掲げているが、4-④に地域企業におけるITの活用促進や、情報技術産業振興に関する言及がない。そのため、市内企業に対する支援として、「IT導入・活用による付加価値・生産性の向上を支援する」旨を追加することを提案する。	ご意見のとおり、市内企業には、時代に即し、企業に応じた支援が必要だと考え能力やノウハウを提供するとして位置づけております。今後も、様々な団体から多様な支援ができるよう進めてまいります。
14	創業支援についてスタートアップの発掘、育成に取り組むのであれば、より具体的な施策が必要である。コワーキングスペースを拠点とした既存大手・中堅企業のオープンイノベーションの推進、フリーランスとの連携、ベンチャー・キャピタルの招聘・連携、コミュニティ形成などが考えられる。起業家を発掘、育成し、企業の成長を支援するエコシステム構築に向け、取り組んでいく必要があると思う。	創業支援には、ご意見のとおり、連携する場づくりなど様々な取り組みが必要だと考えられます。そのため、4-④に企業や新規創業者等が連携する場の提供を追記しました。
15	5-⑦に公共交通に関する施策・主要事業の中で自動運転への言及がされていない。地域公共交通機関の担い手不足、高齢化は大きな課題となっており、その解決に向けて、全国に先駆けて自動運転の研究、実証実験等を推進することが求められており、提案する。	公共交通等に関する自動運転については、今後、重要な考え方だと考えております。そのため、5-⑦の「利用しやすい地域公共交通の構築」に自動運転及び移動手段の最適化を追記しました。
16	総合計画を広く市民に届けるために、冊子の書体を含めたデザインや、動画をはじめとした多様な発信により、できるだけ伝わりやすい工夫を提案する。	ご意見のとおり計画策定するだけでなく、できるだけ多くの方に理解していただくことが必要だと考えておりますので、検討いたします。
17	掛川市内に住宅地誘導ゾーンや商業地誘導ゾーンを設置してコンパクトシティ化を促進することを提案する。	持続可能で快適な都市環境づくりを推進するには、コンパクトな都市構造への転換が求められ、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進として位置づけております。

その他個別事業に関するご提案 9件